



## 今月の農家さん

### 家族みんなで野菜作り

守山市赤野井町

中村 考志さん (43才)

文乃さん (43才)

優太くん (4才)



農業を始めて5年目の中村さんファミリー。  
約2haの圃場でエタマメを中心にトウモロコシや  
ブロッコリーなども栽培しています。

以前は競輪選手だった考志さん。現役の頃から  
全国各地の農家さんの所を視察するほど農業が大  
好きで、趣味が高じて就農しました。

農業を始めた頃に産まれた優太君も大きくなり、  
今では1人でマルチシートを設置するなど、お手伝  
いを頑張っています。

そんな中村さんのこだわりは、いつでもエタマ  
メを味わってもらえるよう、作付け時期をずらして

多くの品種を出荷すること。そして、新しい事にど  
んどんチャレンジしていくことです。

中村さんは「野菜作りは挑戦や努力の積み重ね  
が、おいしさや収穫量などに表れるのでやり甲斐  
があります」と農業の魅力を語ります。

また、考志さんは「交流を続けている競輪選手  
に近況を話すと『自分も体力を活かして就農してみ  
ようかな?』と盛り上がります」と笑顔で話します。

最後に中村さんは、これから農業を始める方に  
「どんな作業も目標や楽しさを見つけて、無理なく  
取り組むことが大切です」とエールを送りました。

## 営 農 情 報

### ◆適正な水管理 (早期落水防止)

出穂期前後は、水稲が最も多  
くの水を必要とする時期です。水が  
不足すると十分に光合成ができず、  
白未熟粒や胴割粒が増加してしま  
います。

コシヒカリやキヌヒカリなどの  
早生品種は8月中旬〜下旬まで、  
秋の詩や日本晴などの中生品種は  
9月上旬まで湛水管理を実施しま  
しょう。

また、水稲は成熟期まで水を吸  
い上げ、穂へ養分を送り続けるた  
め、落水が早すぎると粒の肥大が  
不完全になり、茶米、死米、胴割  
粒が発生します。

特に近年は、猛暑で胴割粒が発  
生しやすくなっていますので、収  
穫予定の5日前までは、圃場に長  
靴の足跡がはっきりつくぐらいの  
水分を確保しておきましょう。

### ◆適期に収穫 (刈り遅れない)

近年、出穂後も高温が続き、登  
熟日数が短くなる傾向です。

そのため、出穂後30日を過ぎた  
ら収穫できるよう準備をする必要  
があります。

左記の表を参考に適期に収穫す  
るようにしましょう。

平成25年～29年の登熟日数  
(作況試験データより)

みずかがみ	コシヒカリ	秋の詩
32～34日	32～37日	37～42日

例) コシヒカリ  
7月28日に出穂の場合、刈取り時期は  
8月29日が目安

